

小豆島の歴史

大坂城残石のふるさとめぐり

（集落散策マップ）



お
み
小海



道の駅・みなとオアシス

大坂城残石記念公園

Stones of Osaka Castle. Commemorative Park



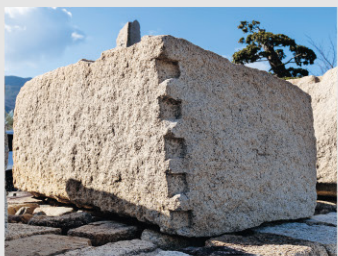
大坂城の石垣石を運んだ 石工のプライドを受け継ぐ小海集落

徳川時代（1620年～1629年）、大坂城再築のために小豆島からたくさん石垣用の石が運び出された。

小海集落には、豊前小倉藩細川家が采配した石丁場があり、「残念石」と呼ばれる矢穴（石が採石されたときにできた跡）や細川家の刻印が残った石が大坂城残石記念公園に展示されている。

小海の現在も使用されている石丁場は、小豆島で唯一大きい石を採石している石丁場である。時代の移り変わりと共に石の需要が少なくなり、石材業が衰退する中、「大きい石を採るのが石屋だ」という石工のプライドを受け継ぎ、その揺るぎない意志を後世に繋いでいる。

また、明治時代には小海集落の石は良質で、石工の技術が高かったことから三角点の標石として選ばれ、全国の三角点の標石の約9割は小豆島でも特に小海の石が使用されている。



大坂城「残念石」



三角点（小海の石）

START ▶

大坂城残石記念公園アクセス「大坂城残石記念公園」バス停から徒歩1分